

2011年を終えて

公益社団法人日本青年会議所 総務グループ担当常任理事 出向者 小畑 宏介

2011年度を終えるに当たり、ご支援・ご協力を賜りました関係各位のみなさまに衷心より御礼を申し上げます。本当にありがとうございました。

また、一年間私を支えていただきました、鈴木理事長をはじめとする現役メンバーのみなさま、そして常にご指導と温かい激励をいただきましたOBのみなさまに、あらためて感謝を申し上げます。

2011年度は、日本JCへ総務グループ担当常任理事として出向をさせていただきました。東日本大震災という未曾有の大災害に直面した日本、そして東北地区は、大きな転換期を迎え、このような時だからこそ、決して止めてはならないのが青年会議所60年の歩みであり、考えを直ぐに行動に移すことを心がけた1年でありました。そして震災の影響もございましたが、総会、諸会議運営をはじめ、創立60周年記念式典・記念祝賀会を滞りなく、終えることができました。

1年間の出向を通じ、京都会議をはじめとする日本JCの各種大会、諸会議において、たくさんのLOMメンバーのみなさまよりご参画をいただき、また、出向しているメンバーにいつも温かいお言葉を頂戴しましたこと心から感謝を申し上げます。

結びになりますが、2011年度日本JCにおいてこの役職を与えていただきました福井会頭、ご指導をいただきました吉村専務、また共にJC運動を支えた総務グループ議長・委員長に心から御礼を申し上げたいと思います。そして、常に私を支えてくれた、山陰逸郎室幹事、加賀屋久人君、明石浩貴君、山科優君、加茂谷博文君にも心から御礼を申し上げます。素晴らしい1年をありがとうございました。

出向を終えて

公益社団法人日本青年会議所 渉外委員会
総務グループ担当室幹事 山 陰 逸 郎

本年、公益社団法人日本青年会議所常任理事に就任した小畑常任の担当する総務グループの室幹事として出向させていただきました。今年度はLOM内で副理事長という大任を仰せつかっているなか大変悩みましたが、大恩ある小畑常任に報いなければと意を決して引き受けさせていただきました。

出向経験のある委員会組織とはまた違い、日本JC本会総務グループの議長委員長の皆様とともに行動し、また本会役員会の場合へのオブザーブさせていただきました、改めてJAYCEEとしての熱い意欲を体感させていただきました。また、ともにご出向いただきました加賀屋委員、明石委員、加茂谷委員、山科委員には多大なるご協力をいただきありがとう

ございました。

最後になりましたが、快く出向に送り出していただきました鈴木理事長並びに L O M 諸会議に休みがちとなりご迷惑をおかけしました副理事長、専務並びに役員各位の皆様にお詫びと御礼を申し上げます。

出向を終えて

公益社団法人日本青年会議所 総務グループ渉外委員会
委員 加賀屋 久人

2011 年度は、昨年に引き続き、公益社団法人日本青年会議所に出向しました。職務は小畑宏介君が総務グループ会務担当常任理事であったため、その補佐でしたが、山陰逸郎室幹事が出席できない場合の、代理も務めました。

各種大会を除けば概ね東京の J C 会館での活動が主で、昨年の総務委員会の延長のようで、馴染み易かったように思います。震災の関連で年間のスケジュールも例年とは違い、理事会を郡山で開催する等、イレギュラーな事も多くありましたが、多くの新しい出会いもあり、楽しい一年間でした。年初の京都会議中に父が倒れ、その後しばらく活動に支障をきたしたのは残念でしたが、皆様からの御支援もあり、全う出来ました。有難うございました。

『出向を終えて』

公益社団法人日本青年会議所 総務グループ渉外委員会
委員 明石浩貴

本年度、(社)日本青年会議所「渉外委員会」に出向させていただきました。日本 J C へ初めての出向ということで、自分に何が出来るだろうかという思いを持ちながらも、少しでも小畑常任理事のお力になりたいという気持ちで出向を決意いたしました。

実際に出向してみると、諸大会本番は勿論のこと、その大会まで至るまでの過程を目の当たりにし、取り組む姿勢、プライド、熱意など本当に多くのことを学ぶことが出来ました。

また、各 L O M からの出向メンバーとふれあう事もでき、本当に貴重な体験をさせていただきました。今後はこの経験を生かし、L O M での活動にも結び付けていきたいと思っております。

最後に快く出向させていただいた鈴木理事長、様々な面でご指導、フォローをしていただいた出向メンバーに本当に感謝いたします。1年間本当にありがとうございました。

(社)日本青年会議所 渉外委員会の出向を終えて

公益社団法人日本青年会議所 総務グループ渉外委員会
委員 山科優

2011年度 公益社団法人日本青年会議所・渉外委員会の出向を終えて。昨年度は2010年度 日本青年会議所・総務委員会の委員で出向をさせていただいていましたので、今年の公益社団法人日本青年会議所・渉外委員会の出向には仕事内容も大体を把握しており昨年度の最初頃の様子に右往左往せず仕事ができたと感じます。

しかしながら自分の力だけでは力不足で色々な面で迷惑を掛けてしまいましたが本年度一緒に出向したメンバーにも助けられ無事に公益社団法人日本青年会議所・渉外委員会の出向を終えることが出来ました。

今後は公益社団法人日本青年会議所で学んだことを社団法人秋田青年会議所や仕事に活かしていきたいと感じます。

出向を終えて

公益社団法人日本青年会議所 総務グループ渉外委員会
委員 加茂谷 博文

本年度、(社)日本青年会議所「渉外委員会」に出向させていただきました。入会3年目での初めての出向で予備知識もほとんどない状態でしたので多少の不安がありましたが、役員として出向している小畑常任理事のお力になりたいと感じ決意しました。

最初のうちは日本青年会議所のスケールの大きさに戸惑うこともあり上手く担いを果たせていませんでしたが、回数を重ねていくうちに少しは役に立てたのではないかと感じます。また各大会、JC会館での担いのおかげで、各地の会議所メンバーと交流することができ、自身の経験に非常に大きなものとなりました。

最後に出向させていただいた鈴木理事長をはじめ、LOMのメンバーの皆さま、色々な場面でご指導いただいた山陰室幹事、加賀屋委員、明石委員、山科委員、本当にありがとうございました。小畑常任理事お疲れ様でした。

出向を終えて

公益社団法人日本青年会議所東北地区協議会 東北ゼミナール委員会
委員 伊藤 久嗣

2011年度ゼミナール委員会に出向し、いろいろな経験をさせていただきました。自分自身というものを知るすばらしい機会でした。開校式・東北青年フォーラムでは LOM メンバーの存在の大きさ・友情を感じることが出来ました。このような機会を与えてくれた皆様に感謝し、今後の青年会議所活動に役立てていきたいと思えます。1年間本当にありがとうございました。

出向を終えて

公益社団法人日本青年会議所 東北地区協議会 組織連携推進委員会
委員 大工原 潤

本年度、東北地区協議会組織連携推進委員会へ出向させていただきました。今年は3月の東日本大震災があり、一時委員会の開催も見送りなどしましたが、委員会名の通り、メンバーの連携によってすぐに委員会を再開し活動する事が出来ました。私は、都合がなかなかつかずに参加することができず、委員長はじめ、委員会メンバーの方々へ大変ご迷惑をお掛けした一年でありましたので、今後また出向する機会がありましたら今年の経験をしっかりと反省して今後のJC活動へと活かせるよう努めたいと思えます。

最後に東北地区協議会の皆様、出向を後押しして頂いたLOMの皆様へは大変にご負担とご迷惑をお掛けしてしまい、誠に申し訳ございませんでした。1年間ありがとうございました。

出向を終えて

公益社団法人日本青年会議所 東北地区 秋田ブロック協議会 わんぱく相撲運営委員会
委員長 桐生謙吾

本年度、秋田ブロック協議会わんぱく相撲運営委員会の委員長として出向させていただきました。私はLOMでは委員長としての経験もなく、副委員長としての経験はおろか、運営幹事としての経験もありませんでした。委員長として出向させていただくことには不安もありましたが、「出向は楽しい」と多くの人が言っているのを聞いていたので、多少の迷いはありましたがお受けさせていただきました。

わんぱく相撲運営委員会の委員長として出向させていただくことが決まってからは、慣れない私にとっては大変な毎日でした。

まず、能代から出向されている前委員長からの引き継ぎを行い、11月中にはわんぱく相撲に出場するLOMのエントリーを9LOM分行いました。わんぱく相撲は秋田ブロックでは、ブロック事業のために県内9LOM分のエントリーを行わなければならない、これだけでもそれ

なりの事務量になりました（余談ですが、京都会議に行く膨大な資料を9 LOM分受け取るために、持ち帰るのにかなり苦労しました）。

続いて、県相撲連盟の事務局長を務められている方に挨拶に伺い、今までの大会運営についての意見をいただき、計画立案運営の参考にしました。

年が明けると役員会会員会議所に向けて資料づくりが始まりました。

LOMで理事会の経験のない私には、資料づくりも大変な経験でした。また、役員会や会員会議所での厳しい質問や意見には、冷や汗が出ることも多々ありました。けれども、今になって思えば、その全ての経験が得難いものであると思えます。

資料づくりと同時進行で進めているのが、県相撲連盟さんとの大会の打合せや、各関係協力団体への後援依頼や、小学校への大会出場依頼の文書作成とその発送です。

ここ数年、参加児童の数が低迷している中で、多くの児童に参加していただくべく、委員会メンバーで県内全ての小学校を回って大会の案内に努めました。

そんな中で3月11日の大震災。大会の開催も一時危ぶまれましたが、無事に開催に向けて進めることが決まりました。それからは、出場する児童のエントリーが始まり、あっという間に大会当日を迎えました。

当日は天気にも恵まれ、前年よりは減少したものの多くの児童が参加してくれました。児童の保護者も多く参加してくれて、我が子の熱戦に大きな声援を送っていました。これを見てわんぱく相撲が毎年続いてきた理由の一端が判った気がしました。

秋田ブロック大会で優勝した児童を全国大会に引率するのも委員会の大事な仕事です。秋田の児童は、全国大会でも一生懸命頑張ってくれました。

ブロックに出向させていただくのも初めての経験であり、判らない事が多くありましたが、担当副会長や前委員長、主管 LOM の青少年育成委員会の皆様の助けを得ながら最後まで無事に勤める事が出来ました。

わんぱく相撲は、一度経験するとまた経験したくなると良く聞きます。いまそのことが良く判ります。来年以降も何らかの形で係わっていただけると、本当に思います。

出向を終えて

公益社団法人日本青年会議所 東北地区 秋田ブロック協議会 わんぱく相撲運営委員会
運営幹事 浅利太郎

今年度も、わんぱく相撲運営委員会へ出向させていただきました。昨年度に続き4度目のわんぱく相撲運営委員会という事もあり、軽い気持ちでお引き受けしました。

わんぱく相撲大会自体毎年開催されており、委員会としての活動内容も例年と大きく変わることはありませんでしたが、秋田での開催という事で会場の選定や地元相撲連盟の方々との調整等、委員として出向させていただいた時にはあまり関わらなかった事も経験することが出来ました。

まず、わんぱく相撲秋田ブロック大会へ向け、最初の仕事が会場の選定でした。最終的には十分な観覧席を設ける事のできる五城目町・雀台公園相撲場に決定致しましたが、会場の選定1つでも随分と議論がなされていることを改めて感じました。次に秋田市・男鹿市・天王地区の各小学校を廻り、大会の告知と出場選手の募集となりますが、青少年育成委員会メンバーのご協力をいただき感謝しております。その後、相撲連盟との打ち合わせや会場の下見、参加選手の確認・取組表の作成等を行い、大会前日の会場設営を経て大会当日を迎えることとなります。大会当日の私の役割は、委員長の補佐で会場全体を見ておりましたが、当日発生した問題等を当日スタッフとして参加して下さったメンバーが的確な対処をして下さり、反省すべき点は多々ございましたが大会自体はスムーズに進行出来たと思っております。

4度のわんぱく相撲運営委員会を含め、東北地区協議会や秋田ブロック協議会への出向は7度目となりましたが、今年もまた、多くの経験をさせていただく事が出来ました。

本年度も伝統あるわんぱく相撲運営委員会へ出向する機会を与えていただきました鈴木理事長とご協力くださいましたLOMメンバーの皆様へ感謝致しております。1年間ありがとうございました。

出向を終えるにあたって

公益社団法人日本青年会議所 東北地区 秋田ブロック協議会 事務局
次長 布谷 賢志

まずは、一年間LOMにはない経験をさせていただき、ありがとうございます。出向する段階では、ブロック協議会の役割についてあまり理解していませんでした。ただ役割をこなそうという思いでした。

出向してみると、役割として機材の搬入・会場の設営、運営のサポート、会場の撤収と、最初に会場入りして最後に会場を後にする基本的に裏方の役目だというのがわかりました。

初めのうちは、機材を運んで設営するにしても、市内から移動しての時などは、時間的にも大変でした。協議会時でも、議論をしている中で、よくわからないままその場で聞いていました。が、ただ決められた作業だけだと、どうしても手が空いてしまって時間が長く感じてしまいます。ですので、何回か協議会の状況がわかった段階で、進行の流れがわかり、また、各委員長の事業について、中身を詳しく聞くことに慣れ、各LOMの理事長様方の様々な見方による鋭い指摘等の理解も少しはできるようになってきたかと思えます。何事も経験からといますが、経験としては、事務局次長という役職以上の物の考え方や見方、各LOMの理事長様方を通じての、地域の感覚が少しではありますが、自分の糧となったように感じています。

今年、東日本大震災が発生し、協議会自体が延期等になりました。被災した方々に対

してのブロック協議会からの支援等も検討して行動を起こしました。その中で、各委員会の事業も継続して行わなければならないため、平日の夜にもかかわらず各委員長・理事長方が時間を調整し、夜中まで議論を交わしました。震災の影響もあり、いつにもまして真剣な姿を目の当たりにし、また微力ながら参加させていただき、地域社会に対する、情熱等を共有することができ、勉強になりました。

これらのことを経験して、各委員会事業の重要性、それに対する各委員長の事業へ対する熱意、自分の事業を通すための手法、一般の方にいかに参加して自分たちが伝えたいことを表現し体感してもらうかについて、様々な考え、方法、やり方を肌で感じて勉強することができ、貴重な体験をさせていただきました。

また、直前会長、会長他様々な方から、設営の度に声をかけて頂き、非常に感謝しています。

この経験を生かして、今後LOMで役立てていきたいと思えます。

出向を終えて

公益社団法人日本青年会議所 東北地区 秋田ブロック協議会 事務局
事務局次長 真壁 伸悦

2011年度の事務局次長をさせていただきました真壁伸悦と申します。

入会2年目にして事務局次長という職務を与えていただき、最初は自分でいいのか戸惑いもありましたが、高谷会長をはじめ役員の方々、各LOMの理事長様方に色々ご指導をいただき1年間頑張る事ができたと自分では思っております。

1年を通して、役員・会員会議所会議、ブロック大会と県内各地を訪れその都度新しい学びを得る事ができました。ブロック内の各委員長様達の熱意・思い、それに対する役員、各LOM理事長様方の意見・アドバイス等、1つの事業に皆で意見を出し合い、より良いものにするということ、それは今までに自分が経験したことがない事だったので本当にいい経験をさせていただきました。

予定者の段階から色々な面でご指導いただいた畠山事務局長、共に次長という職務を全うした海沼次長、布谷次長本当にお世話になりました。

「JAYCEEが秋田の元気力に 秋田の飛躍はJAYCEEから」というスローガンのもと、2011年度秋田ブロック協議会の一員として運営にたずさわれた事を誇りに思い、これからのJCライフを全力で全うしたいと思います。本当にありがとうございました。

出向を終えて

公益社団法人日本青年会議所 東北地区 秋田ブロック協議会 輝く秋田創造委員会
菅原 渉

本年度、ラストということもあり、鈴木理事長の粹なお取り計らいでブロック大会メインフォーラムを担う委員会へ出向させていただきました。ブロック役員を06年にさせていただいた以来の出向ということで、久々に楽しく過ごさせていただきました。

メインフォーラムの趣旨や大枠の流れ、講師の選定、それに伴ってパネルディスカッションはどうやって勧めていくのか。委員会でたくさん話し合いました。行動力のある委員長の下での事業だったので、スムーズ・かつ、迅速に物事が進められたと感じました。冒頭にも書いたとおり、私が役員を経験したことがあるため、多少なりともお役に立てたのではないかなと感じております。

おかげ様をもちまして、ブロック大会も無事成功させていただきましたし、ラストの節目に大変良い経験をさせていただきました。重ね重ね申し上げますが、鈴木理事長、そして秋田JCメンバーの皆様本当にありがとうございました。

出向を終えて

公益社団法人日本青年会議所 東北地区 秋田ブロック協議会 LOM 協働委員会
副委員長 山内 武

本年度、秋田ブロック協議会 LOM 協働委員会に出向させていただきました。出向させていただいたものの本年度はあまり委員会に参加することが出来ずに申し訳なく思っています。今年度の反省を生かしてまた出向する時には、皆さんに迷惑が掛らないようにしていきたいと思います。

出向を終えて

公益社団法人日本青年会議所 東北地区 秋田ブロック協議会
元気あふれるブロック大会運営委員会
委員 阿部隆志

昨年度のアカデミー委員会への出稿に続き、今年度は秋田ブロック協議会元気あふれるブロック大会運営委員会に委員として出向させていただきました。

出向の話をいただいた時に、アカデミー委員会同期が元気あふれるブロック大会運営委員会委員長をされることを伺い、同委員会に配属をお願いいたしました。

秋田ブロック協議会への出向は、自分の枠を広げる意味でも非常に意義深いものです。アカデミー出向の時にも思いましたが、LOM以外に年齢関係なく親友を作れます。これは誰もが出向を進める時に話すことだと思いますが、本当です。私自身、アカデミー委員会と今年の委員会両方で、かけがえのない人たちと知り合うことができました。またこれまで経験したことがない事に、1人ではなく委員会メンバー全員で取り組むことで、不安もなく本番を迎えることができました。

ブロック大会運営当日には沢山の秋田JCメンバーにお越しいただき、応援もしていただき、大変ありがとうございました。LOMの支えがあつての出向の意味がよく分かりました。この素晴らしい経験を今後活かしていきたいと考えております。

ありがとうございました。

出向を終えて

公益社団法人日本青年会議所 東北地区 秋田ブロック協議会 JC 運動推進委員会
委員 横山 健太郎

本年度、公益社団法人日本青年会議所 東北地区秋田ブロック協議会 JC 運動推進委員として出向させていただき、委員会スローガン『～元気な秋田の創造の為に～ JC 運動からはじめるまちづくり』と掲げ、これに1年間取り組んでまいりました。しかし、当委員会の3本柱『県政に対するマニフェスト型公開検証会の企画・実施』、『全国一斉憲法論議への参画についての企画・実施』、『JCI Nothing But Nets キャンペーンの推進』に関しては、今年度はあまりにも大きな事象に阻まれ、その達成はとんでもなく困難なものでした。

しかし、JCに撤退や後退は決して許されません。どんな時でも前進あるのみ、倒れる時は前のめりに倒れるであります。その意味で今回『県政に対するマニフェスト型公開検証会の企画・実施』を行う事は残念ながら出来ませんでした。この事業を次世代に引き継ぐための機会に立ち会い、なおかつ、そのプレゼンを制作できたことは、自分の成長のためにも良かったのではないかと前向きにとらえております。

最後になりますが、全てのメンバーに心から感謝を申し上げ、報告とさせていただきます。

誠にありがとうございました。

出向を終えて

公益社団法人日本青年会議所 東北地区 秋田ブロック協議会 総務情報委員会

委員 筒井 崇之

本年度は、秋田ブロック協議会総務情報委員会に出向させていただきました。

役員・会員会議所会議ならびに合同懇談会の担当ということで、年初から非常に慌ただしいスタートだったなぁというのが正直な感想です。私は仕事の都合で事前の打合せに参加できなかった為、当日打合せで初めて吉田委員長や委員の皆様にお会いしたのですが、皆様があたたかく接していただけた事で特に違和感もなく、また吉田委員長の的確なご指示があった為、円滑な運営ができたと思います。

その他には『きらっとひかる秋田9 LOM女性会員へのインタビュー』という新企画では、各LOMの女性会員にスポットをあて、これまでのJC活動やJCへの想いなどを伺うというインタビューを行いました。当LOMからは、会員拡大交流委員会の根田委員長にご協力をいただき、無事ホームページに掲載することができました。

総務情報委員会の活動としては議事録作成など数多くありましたが、実際私が参加できる機会が少なく、吉田委員長をはじめ委員の皆様にはご迷惑をお掛けしまして申し訳ない気持ちでいっぱいですが、今年度出向できたことで多くの出会いと、貴重な経験を得る事ができました。

最後に出向の機会を与えていただきました鈴木理事長、そしてご指導いただきました皆様、本当にありがとうございました。この経験を次年度以降のJC活動に活かせる様努力していきたいと思えます。

アカデミー委員会出向を終えて

公益社団法人日本青年会議所 東北地区 秋田ブロック協議会 アカデミー委員会
委員 初山 信治

2011年度、アカデミー委員会の委員として出向させていただきました。私にとって出向は初めての経験であり、アカデミー委員会を通して県内の各LOMのJCメンバーと過ごした時間は、とても貴重なものとなりました。

事業の内容自体も、初めはJCの基礎知識から始まり、JC内だけでなくビジネスの場で役立つ様々な手法を学ぶことができ、多くのものを得ることができました。中でも、鹿角にて行われた「秋田の魅力探究キャンプ」では、各地域の特産品を多数知ることができ、またアカデミー委員会の皆様と親睦を深めることができ、実りのある時間を過ごすことができたと感じています。

残念ながら全ての事業に出席することはできませんでしたが、この場で学んだ事を1つでも多く今後に生かせるように頑張っていきたいと思えます。

最後に、佐藤委員長を始めとするアカデミー委員会の皆様、1年間本当にありがとうございました。

出向を終えて

公益社団法人日本青年会議所 東北地区 秋田ブロック協議会 アカデミー委員会
委員 佐藤由実

今年度、LOMの志摩委員長に（出向だよ）と言われ、出向ってなんだろう？という疑問が付いたまま、アカデミー委員会に出向させて、いただきました。

入会まもなく、それまではJCとしての意味も分からず参加してきた私にとって、出向は不安でいっぱいでした。

いざ参加してみると、アカデミー佐藤委員長をはじめとする、多くの方々にご指導をいただきながら、JCを一から学ばせてもらい、LOMの枠を超えた大切な出会いや、友情、貴重かつ新鮮な経験を得ることができたと感じております。

最後になりましたが、アカデミー委員会を引っ張って下さった佐藤委員長、佐藤千恵子副委員長、猪俣運営幹事、また私を今年度の出向をお許し下さった鈴木理事長、並び志摩委員長に、御礼申し上げます。

一年間、本当にありがとうございました。